

図1(1) 熊本地区の水理地質

地下水の流れは、阿蘇外輪山の北側～西側～南側に分布する火山岩類により、阿蘇カルデラ内と阿蘇西麓から熊本平野までの二つに分かれている。阿蘇カルデラ内では、降雨がいったん地下へ浸透したあと、湧水等を通じてカルデラ内の河川へ流出する。表流水となった地下水は白川を通じて、外輪山の西側へ流下する。白川中流域と呼ばれる大津町、菊陽町、益城町付近の台地部で地下へ浸透し、熊本市方面に流れ出す。阿蘇地域と熊本地域は地下水と白川の流れを通じて一つの水循環経路を形成していると言える。

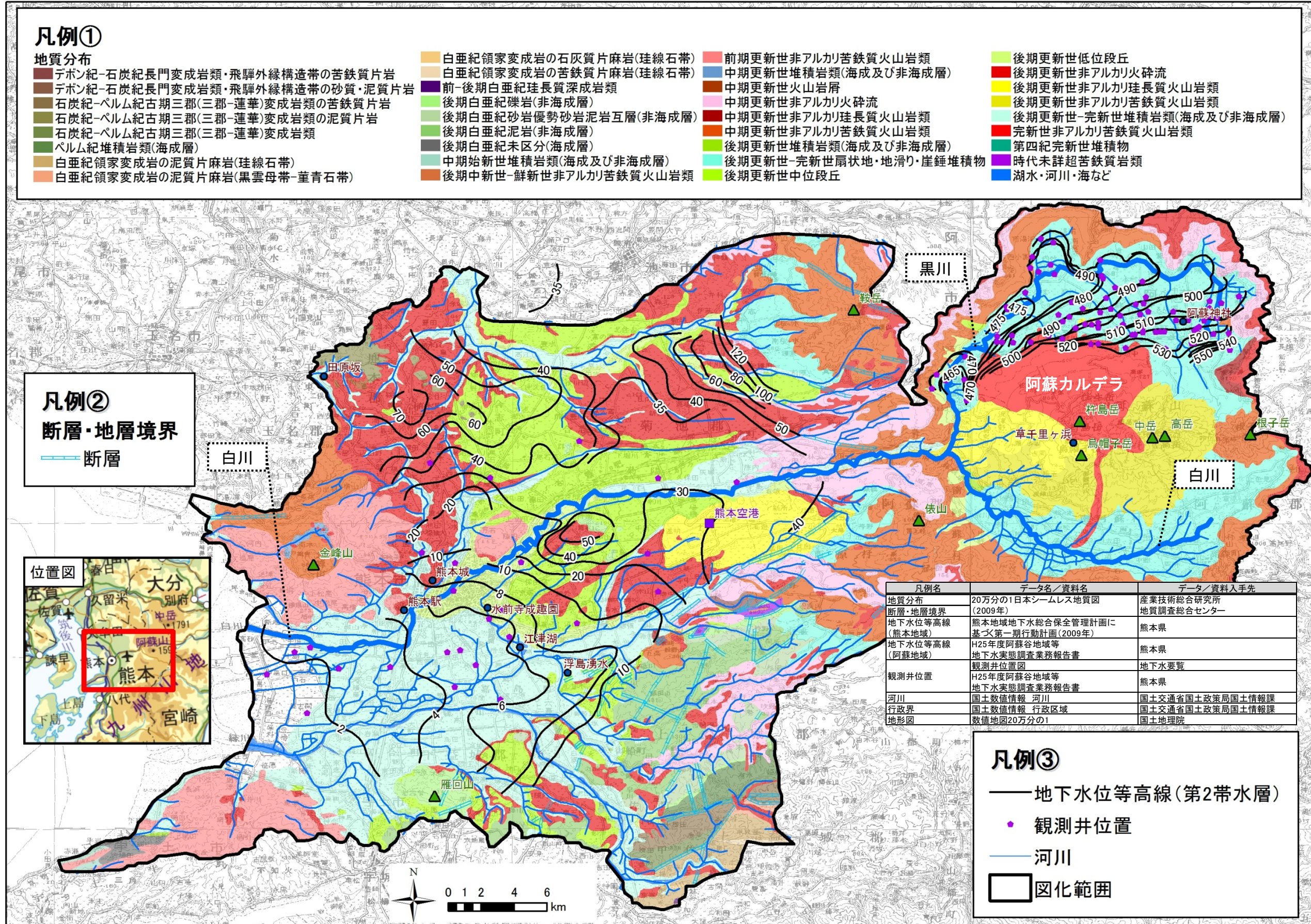
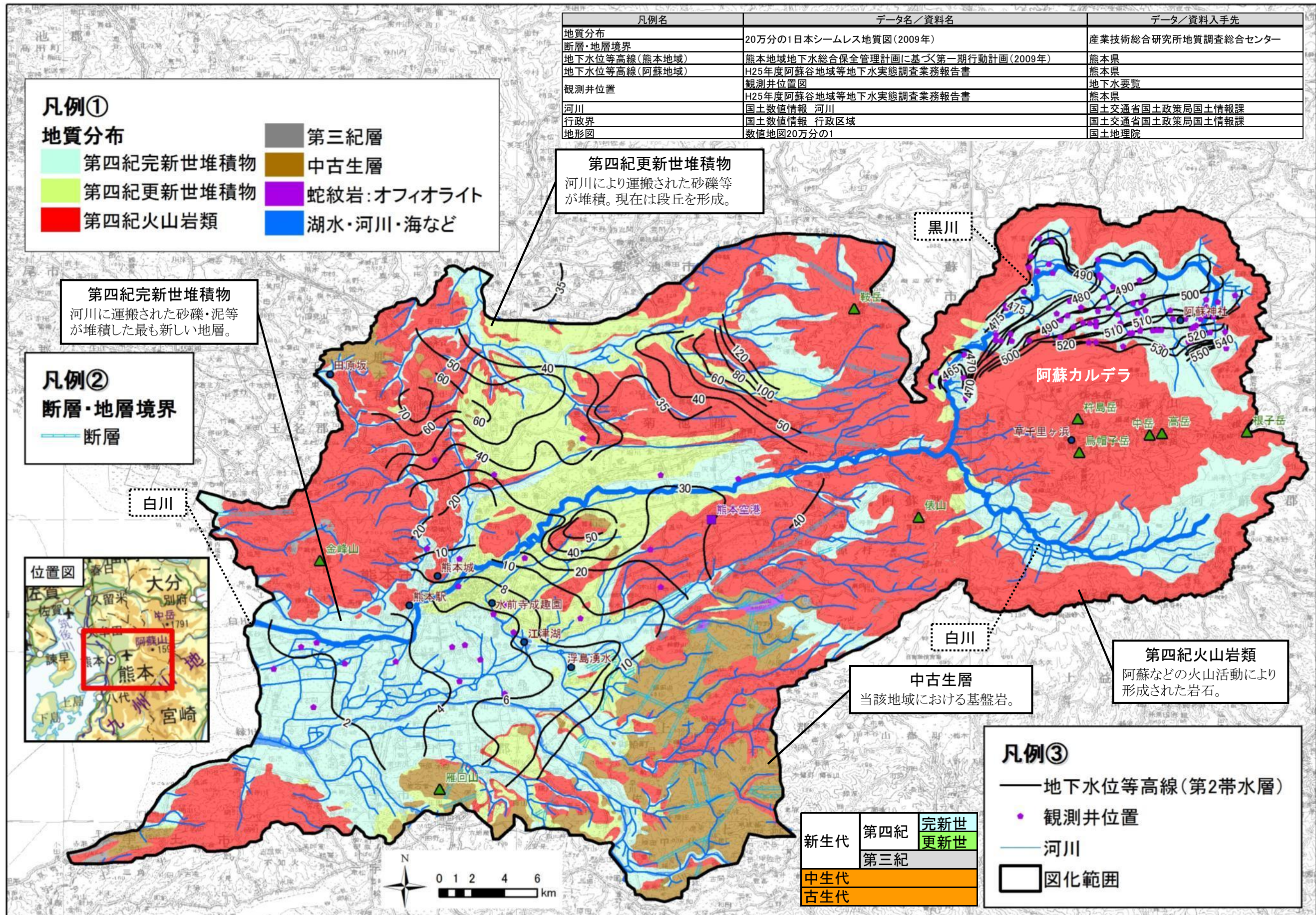


図1(2) 熊本地区の水理地質(地質区分簡易版)



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図200000(地図画像)、数値地図50000(地図画像)、数値地図25000(地図画像)及び電子地形図(タイトル)を複製したものである。(承認番号 平27情復、第758号)」